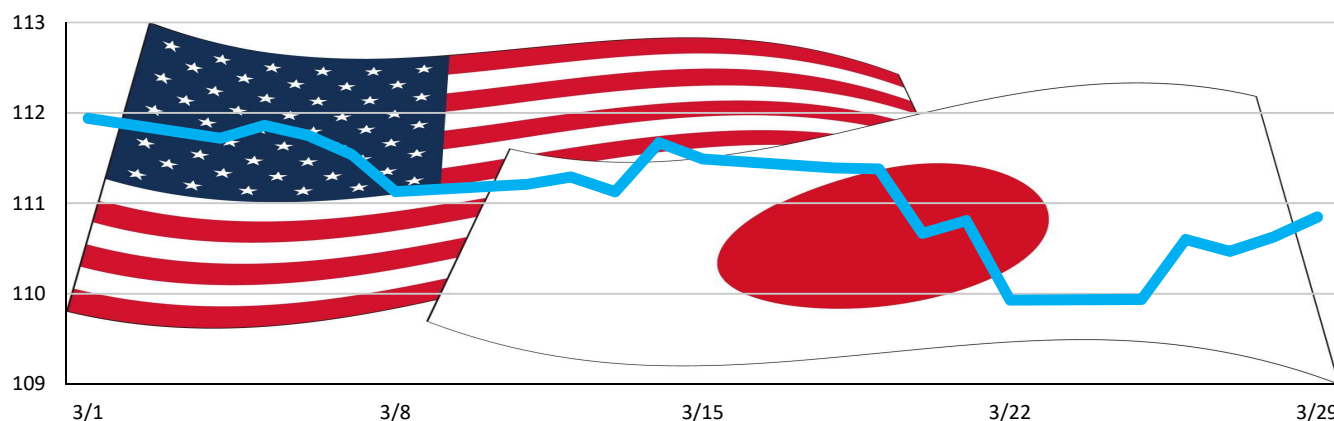


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 3月のドル円相場は112円前半～109円半ばで推移。米中貿易協議が終了し、ドル高基調が継続している中、中国全人代において成長計画を下方修正したことやECBによる年内利上げ断念と量的緩和再開への転換、上海株の急落などがあり111円台を割り込んだ。さらにFOMCでは金利は据え置かれたものの、年内の利上げはなく、2020年に1回という見通しを示唆したことでドル円は110円台を割り込んだ。月末にはトランプ大統領のロシア疑惑について共謀の証拠がないと示されたことや米中閣僚級通商会議での合意期待感もあり、ドル安に歯止めがかかった。ただ月間を通して話題の中心は英国のEU離脱問題。英議会の離脱法案の採決などによってポンド相場が急騰急落を繰り返すなど、ユーロとポンドが相場の中心となっていた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: マーケットの最大の関心は英国のEU離脱問題。執筆時点では判明していないが合意のないまま離脱となるのか、離脱延期となるのか、まず注目しておきたい。また、IMF(国際通貨基金)による世界経済成長率見通しが3.5%から3.3%へ下方修正されたことやトランプ大統領がEUに対して関税を賦課すると発言するなど、世界経済動向に関して先行き不透明感が台頭していることから、難しい局面となっている。特に日本は10連休を控えており、大きくポジションが取りづらいことから、連休後に動けるように対応しておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
4 / 25 (木)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
4 / 26 (金)	21 : 30	U S	米GDP速報値	☆☆☆☆
5 / 2 (木)	3 : 00	U S	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
5 / 2 (木)	20 : 00	G B	英中銀金利発表	☆☆☆☆
5 / 3 (金)	21 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
5 / 10 (金)	21 : 30	U S	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
5 / 15 (水)	21 : 30	U S	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。